

合併協議を終えて

～ 会長・副会長ごあいさつ～



会長
佐久市長 三浦 大助

4月1日の新市発足により、合併協議会がその役目を終えることとなります。

これも、住民の皆様のご理解ご協力の賜であり、心より感謝申し上げます。

今、新市発足ための準備が終盤を迎え、「新・佐久市」としてのまちづくりの第一章が始まるうとしていきます。

新市にとって大切なことは、10万人の市民の皆様が、旧市町村という枠にとらわれず、「新・佐久市」を自分たちのふるさととして愛するお気持ちを、温度差なくお持ち頂くことであると思っております。

そのためにも、それぞれの地域の歴史や文化を尊重しながらともに手をとり、新市の将来像の実現を目指し、佐久平の中枢都市として着実に歩み出さなければなりません。

新市の均衡ある発展と市民福祉の向上を図るために、引き続き、「新・佐久市」に対しましても、ご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。挨拶いたします。



副会長
臼田町長 加藤 哲夫

平成15年12月22日に4市町村で合併協議会を設立してから、協議会では今日まで合併についての調査、研究協議を進めて参りました。

これらも3月3日開催の第14回合併協議会をもちまして、全ての合併に係る案件が協議され、終結致しました。

これも偏に合併協議会委員、協議会議員の皆様をはじめ、住民の皆様のご理解、ご協力の賜であると改めて感謝申し上げますとともに、この事業に携わってこられた多勢の方々のご労苦に対しましても、深く感謝申し上げます。次第であります。

来る4月1日、4市町村は合併して新「佐久市」が誕生致します。これに伴いまして本協議会も、今月末をもって解散となります。

新市発足後は基本理念にあります「21世紀の新たな文化発祥都市」が全ての市民協力のもとに一日も早く構築されますことを心からご祈念申し上げます。



副会長
浅科村長 佐藤 治郎

春一番が吹き抜け、一日一日と陽射しが強くなり、野山の草木や虫たちの胎動を感じる季節となりました。

平成14年8月26日より始まった合併協議も紆余曲折を経ながらも、本年4月1日、佐久平に待望の10万都市「新生・佐久市」の誕生を見ることができました。これは、このうえない喜びと致すところであります。

これまで、住民の皆様はもとより議会、区長会、関係機関のご支援、ご協力を賜りましたことに對し、あらためて御礼を申し上げます。次第であります。

浅科村という自治体が消えることに一抹の淋しさはありますが、先人達が築いてきた歴史と豊かな環境、自然、伝統文化、産業が新市の中で埋もれることなく、脈々と生き続けられるよう引き継ぐとともに、住民参加による協働のまちづくりを進め、市政の発展と将来に亘って、自立した自治体として地域づくりを進められることを願ひ、合併協議会を解散するにあたってのあいさつとします。



副会長
望月町長 竹花健太郎

この度、合併の諸準備も整い、合併協議会がその役目を無事終えることができましたことは、ひとえに関係各位のご尽力並びに住民の皆様のご理解の賜であると、まずは心より感謝申し上げます。

合併まで後僅かとなりましたが、より一層の絆と信頼の確立を胸に、4月1日の佐久市誕生へ向けて、気を引き締めて臨んで参ります。

望月町は、昭和34年8月に4か町村の合併により誕生しました。昭和の大合併の際の分町問題等様々な出来事もありましたが、数々の苦難を克服してこられた先達のご努力により、45年余りの歴史が築かれてまいりました。

これからは、より良い地域を目指すとして、4市町村がそれぞれに重ねてきた歴史の中の有形無形の財産をしっかりと引き継ぎ、心一つにして力を合わせて新市に活かしていくことが大切です。私たちの新しいふるさと「佐久市」が大いなる発展を遂げられることを心よりご祈念申し上げます。挨拶いたします。